2 準備しよう!

2.1	まず確認しよう	2-2
2.2	パソコンと GP を接続しよう	2-6
2.3	パソコンのネットワーク設定をしよう	2-9
2.4	GP のネットワーク設定をしよう	2-27

2.1 まず確認しよう

セットアップを行う前に、以下の事項を確認しましょう。

2.1.1 パソコンの仕様

動作環境

ソフトウェアをインストールするパソコンの仕様が、『Pro-Server EX』の動作環境に適合しているか ご確認ください。もし適合していない場合は、インストールがうまくできなかったり、ソフトウェア の動作に不具合を生じたりするおそれがあります。 動作環境の詳細については「第1章 動作環境」をご覧ください。

OS

『Pro-Server EX』は、『Windows 2000』、『Windows XP』、『Windows Vista』、『Windows Server 2003』、 『Windows 7』、『Windows Server 2008』または『Windows Server 2008 R2』上で動作します。 OS がイン ストールされ、正しく動作していることをご確認ください。

アプリケーションソフト

『Pro-Server EX』の機能を最大限に活用するためには、以下のソフトウェアがインストールされていることが必要です。あらかじめインストールしてください。

- "Microsoft Excel 2000" ~ "Microsoft Excel 2010"
- [®] Microsoft Access 2000 a ~
 [®] Microsoft Access 2003 a
 [®]
- 『Microsoft Internet Explorer Version 5.0』以上

2.1.2 必要な機材

LAN ハブ(10BASE-T/100BASE-T 対応、スイッチングタイプ) ィーサネットケーブルの集線に使用します。



パソコンと GP が1台ずつの接続(1:1 接続)の場合でも必要となります。

接続するパソコンの台数分 + GP の台数分のポート数が必要です。ポート数が足りない場合は、 LAN ハブを複数ご用意のうえ、カスケード接続を行ってください。接続の方法については、LAN ハ プのマニュアルをご覧ください。

MEMO ・ LAN ハブについては、以下の製品を弊社にて販売しております。

型名:工業用イーサネットスイッチ

型番:SPIDER 8TX-PRO





イーサネットケーブル(10BASE-T/100BASE-T 対応 UTP ストレートケーブル) パソコンと GP 間の接続に使用します。



パソコンと GP が1台ずつの接続(1:1 接続)の場合でも、LAN ハプを用いて集線を行うため、必ずストレートケーブルをご用意ください。クロスケーブルで接続した場合、動作の保証は致しません。

接続するパソコンの台数分+ GPの台数分の本数が必要です。

UTP ケーブルとは 信号線を2本ずつより合わせて対にした、シールドなしのケーブルのことです。ストレートケー ブルとクロスケーブルの2種類があり、機器とLAN ハブを接続する場合はストレートケーブル を、機器同士またはLAN ハプ同士を接続する場合はクロスケーブルを使用します。

ネットワークアダプタ(LAN ボード /LAN カード)

パソコンに取り付けて使用します。



(イラストは LAN ボード)

パソコンに本システム接続用のイーサネットポートがすでに取り付けられている場合は不要です。

ネットワークアダプタの取り付けについて ネットワークアダプタを取り付ける場合は、ご使用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で 取り付けてください。取り付けの方法については、パソコンまたはネットワークアダプタのマ ニュアルをご覧ください。 • パソコンの拡張スロット (PCI バスまたは ISA バス)に LAN ボードを取り付ける • パソコンの PC カードスロットに LAN カードを取り付ける

2.2 パソコンと GP を接続しよう

パソコンと GP をイーサネットケーブルで接続します。

接続は下図のように、イーサネットケーブルをパソコンと GP にそれぞれ接続し、LAN ハブで集線す るという形で行います。

< 例:ご使用中の GP 3 台にパソコン 1 台を接続する場合>



1 イーサネットケーブルの一方を、パソコンのイーサネットポートに接続します。





2 別のイーサネットケーブルの一方を、GP のイーサネット I/F にそれぞれ接続します。

<例:GP3000シリーズの場合>



 MEMO
 ・ イーサネット I/F の位置は、ご使用の GP によって異なります。詳細は GP のマニュアル をご覧ください。
 3 パソコンと GP に接続したイーサネットケーブルのもう一方を、LAN ハブのポートにそれぞれ接続します。



以上で接続は完了です。

2.3 パソコンのネットワーク設定をしよう

ご使用のパソコンをネットワーク(イーサネット)経由で GP に接続するための設定を行います。 設定は、以下の項目について行います。

- ネットワークアダプタ(LAN ボード/カード)の確認
- TCP/IP プロトコルの設定

なお、設定の方法はご使用の OS によって異なります。各 OS に対する設定の方法については、下記の各ページをご覧ください。

- 『Windows Vista』の場合:「2.3.1 Windows Vista をご使用の場合」
- ・ 『Windows XP』の場合:「2.3.2 Windows XPをご使用の場合」
- 『Windows 2000』の場合:「2.3.3 Windows 2000 をご使用の場合」
- 2.3.1 Windows Vista をご使用の場合

■ 要 • この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオン してください。ユーザー権限については、OSのマニュアルをご参照ください。

1 ネットワークアダプタの確認

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタ(LAN ボード / LAN カード)が正常に動作してい るかどうかを、Windows の「デバイスマネージャ」で確認します。

(1)パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

(2)デスクトップの「コンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。



(3) 表示された画面から、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



重 要 • [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

(4)「デバイス マネージャ」画面で、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワーク ア ダプタ」をダブルクリックします。

パソコンに取り付けられているネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



MEMO

 名称の先頭に「×」マークや「!」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタ は正常に動作していません。パソコンやネットワークアダプタのマニュアルなどをご参 照のうえ、正常な状態にしてください。

(5)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「デバイスマネージャ」画面を閉じます。

(6)[OK]ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」ダイアログを閉じます。

2 TCP/IP プロトコルの設定

重 要 • ネットワーク管理者に相談の上、作業を行ってください。

(1) タスクバーの[スタート]ボタンをクリックしたあと、「コントロールパネル」から「ネット ワークと共有センター」を選択します。



TCP/IP プロトコルとは

ネットワークプロトコル(通信速度、通信方法などの通信に関する取り決め)の1つで、「TCP (Transmission Control Protocol)」と「IP(Internet Protocol)」という2つのプロトコルの名称を合わ せたものです。インターネットや電子メールなどに利用され、現在最も普及しているプロトコル です。

(2) 表示された画面から [ネットワーク接続の管理]をクリックします。



(3)「ネットワーク接続」画面で、「ローカル エリア接続」アイコンを右クリックし、メニューから 「プロパティ」を選択します。





(4)「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログで、[この接続は次の項目を使用します] 内の [インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] にチェックマークが入っていることを確認し ます。

もし入っていない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

🎚 ローカル エリア接続のプロパティ	x
ネットワーク共有	
接続の方法	
🔮 corega FastEther II PCI-TX Ethernet Adapter	
構成(Q) この接続は次の項目を使用します(Q):	
☑ ● Microsoft ネットワーク用クライアント ☑ ■QoS パケット スケジューラ	
☑ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有	
 ✓ エーフターネット フロトコル バージョン 5 (10P/JPV6) ✓ エーノターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) 	
 Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver Link-Layer Topology Discovery Responder 	
インストール(<u>N)</u> 削除(U) プロパティ(<u>R</u>)	
説明 コンピュータから Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。	
	1

(5)[インターネット プロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]ボタンをク リックします。

· 嚊 ローカル エリア接続のプロパティ	x
ネットワーク 共有	
接続の方法	
🔮 corega FastEther II PCI-TX Ethernet Adapter	
構成(©)	ווכ
この接続は次の項目を使用します(<u>O</u>):	
🗹 🖳 Microsoft ネットワーク用クライアント	וור
🔽 📮 QoS パケット スケジューラ	
☑ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有	
💌 🛶 インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)	
✓ ▲ インターネット プロトコル バージョン 4 (TOP/IPv4)	
Link-Layer Topology Discovery Mapper DO Driver	
🗹 🔺 Link-Layer Topology Discovery Responder	
インストール(1)	
	5 H
伝送制御ブロトコル/インターネット ブロトコル。 相互接続されたさまさまな ネットワーク閉の通信を提供する。 既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ	
ルです。	
	-
OK キャンセル	

(6)「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログで、[次の IP アドレスを使う]を選択し、[IP アドレス]のテキストボックスにパソコンの IP アドレスを入力しま す。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ 💦 📧		
全般		
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。		
 IP アドレスを自動的に取得する(0)		
サブネット マスク(山):		
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):		
 DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(<u>B</u>) (次の DNS サーバーのアドレスを使う(<u>E</u>): 		
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):		
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):		
■詳細設定(少		
OK キャンセル		

IP アドレスとは

ネットワークに接続されている個々の機器を区別するために、各機器に割り当てる固有のアドレスのことです。ドットで区切られた4組の数字(例:192.168.0.3)で表されます。

(7)[サブネットマスク]のテキストボックスをクリックすると、自動的にサブネットマスクが入力 されます。必要があればサブネットマスクを変更し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ 💦 💌
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)
 ② 次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(D: 192 . 168 . 0 . 1
サブネットマスク(山): 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):
ONS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
◎ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):
[]][][]][]][]]][]]][]]]]]]]]]]]]]]]]]
ОК ++>U

- MEMO
 [デフォルト ゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用して いない場合、入力する必要はありません。
 - パソコンと GP のサブネットマスクが異なる場合、参加局の検索時に GP が一覧に表示 されません。

サブネットマスクとは

IP アドレスのうち、どのネットワークに接続しているかを示すネットワーク番号と、個々の機器を区別するホスト番号の範囲を表したものです。
 例えば、IP アドレスが「192.168.2.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、それぞれのアドレスを2進数で表すと、
 IP アドレス : 1100000.10101000.00000010.00000001
 セブネットマスク : 1111111.111111111111110000000
 となります。
 IP アドレスのうち、サブネットマスクの「1」で表される部分がネットワーク番号、「0」で表される部分がホスト番号となりますので、IP アドレス「192.168.2.1」のネットワーク番号とホスト番号の範囲は以下のようになります。
 IP アドレス : 1100000.10101000.00000010.00000010
 アドレス : 11000000.10101000.00000010
 の0000001
 ネットワーク番号 ホスト番号

(8)必要があれば、DNS サーバーに関する設定を行います。

(9)[OK]ボタンをクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログを閉じます。

(10)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」画面を閉じます。

(11)設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

以上でネットワーク設定は完了です。

2.3.2 Windows XP をご使用の場合

重要↓● この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオン してください。ユーザー権限については、OSのマニュアルをご参照ください。

1 ネットワークアダプタの確認

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタ(LAN ボード / LAN カード)が正常に動作しているかどうかを、Windowsの「デバイスマネージャ」で確認します。

(1)パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

(2)デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を 選択します。



(3)「システムのプロパティ」ダイアログで、[ハードウェア]タブをクリックしたあと、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。

システムのフロパティ ?!≍
全般 ネットワーク ID ハードウェア ユーザー プロファイル 詳細
- ハードウェア ウィザード
パードウェン・パート 12(5)し、カーンコンの「クイン・バーアン・ワイン・ドー ル、削除、修復、取り外し、および設定ができます。
//ードウェア・ウィザート(円)
デバイス マネージャー
デバイスマネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード ウェア デバイスマネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード
ドライバの署名(S) デバイス マネージャ(D) N
ハードウェア ブロファイルー
パートウェア クロファイルをほうと、かりのパートウェアの構成を設定し、格別の することができます。
<u></u>

(4)「デバイス マネージャ」画面で、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワーク ア ダプタ」をダブルクリックします。

パソコンに取り付けられているネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

MEMO
• 名称の先頭に「×」マークや「!」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタ は正常に動作していません。パソコンやネットワークアダプタのマニュアルなどをご参 照のうえ、正常な状態にしてください。

(5)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「デバイスマネージャ」画面を閉じます。

(6)[OK]ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」ダイアログを閉じます。

2 TCP/IP プロトコルの設定

重要●・ネットワーク管理者に相談の上、作業を行ってください。

(1) タスクバーの[スタート]ボタンをクリックしたあと、「コントロールパネル」から「ネット ワーク接続」を選択します。



TCP/IP プロトコルとは

ネットワークプロトコル(通信速度、通信方法などの通信に関する取り決め)の1つで、「TCP (Transmission Control Protocol)」と「IP(Internet Protocol)」という2つのプロトコルの名称を合わ せたものです。インターネットや電子メールなどに利用され、現在最も普及しているプロトコル です。 (2)「ネットワーク接続」画面で、「ローカル エリア接続」アイコンを右クリックし、メニューから 「プロパティ」を選択します。



(3)「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログで、[この接続は次の項目を使用します]内の [インターネット プロトコル(TCP/IP)]にチェックマークが入っていることを確認します。 もし入っていない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

🚣 ローカル エリア接続のプロパティ	? >
全般 認証 詳細設定	
接続の方法	
Intel(R) PRO/100 VE Network Connection	
	構成(<u>C</u>)
この接続は次の項目を使用します(②):	
 ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ■ QoS パケット スケジューラ ● マーンターネット プロトコル (TCP/IP) 	
	ブロパティ(<u>P)</u>
│ │ 接続時に通知領域にインジケータを表示する〈W〉	
OK	キャンセル

(4)[インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

上 ローカル エリア接続のプロパティ 💦 🗙
全般 認証 詳細設定
接続の方法:
Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
構成(<u>C</u>)
この接続は次の項目を使用します(2):
 ✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ✓ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ✓ ■ QooS パケット スケジューラ ✓ ■ QooS パケット スケジューラ ✓ ■ インターネット プロトコル (TCP/IP)
インストール(10)… 前時金(10) プロパティ(18) 説明 伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時に通知領域にインジケータを表示する(W)
OKキャンセル

(5)「インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ」ダイアログで、[次の IP アドレスを使う] を選択し、[IP アドレス]のテキストボックスにパソコンの IP アドレスを入力します。

インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ	? ×
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管 てください。	、IP 設定を自動的に取得することがで 理者に適切な IP 設定を問い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)	
 次の IP アドレスを使う(S): 	
IP アドレス型:	92 168 0 1
サブネット マスク(山):	
デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>):	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する	5(<u>B</u>)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):	
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	
	詳細設定(⊻)
	OK キャンセル

IP アドレスとは

ネットワークに接続されている個々の機器を区別するために、各機器に割り当てる固有のアドレスのことです。ドットで区切られた4組の数字(例:192.168.0.3)で表されます。

(6)[サブネット マスク]のテキストボックスをクリックすると、自動的にサブネットマスクが入力 されます。必要があればサブネットマスクを変更し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ	۲ ? >
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場 きます。サポートされていない場合は、ネットワ・ てください。	易合は、IP 設定を自動的に取得することがで リーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)	
┌─@ 次の IP アドレスを使う(S): ────	
IP アドレスΦ:	192 168 0 1
サブネット マスク(山):	255 255 255 0
デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>):	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	(得する(日)
◎ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E)	
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	
	詳細設定⊻…
	OK ++>セル

MEMO • [デフォルト ゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用して いない場合、入力する必要はありません。

• パソコンと GP のサブネットマスクが異なる場合、参加局の検索時に GP が一覧に表示 されません。

サブネットマスクとは IP アドレスのうち、どのネットワークに接続しているかを示すネットワーク番号と、個々の機器 を区別するホスト番号の範囲を表したものです。 例えば、IPアドレスが「192.168.2.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、それぞれの アドレスを2進数で表すと、 IPアドレス : 11000000.10101000.00000010.00000001 となります。 IP アドレスのうち、サブネットマスクの「1」で表される部分がネットワーク番号、「0」で表され る部分がホスト番号となりますので、IPアドレス「192.168.2.1」のネットワーク番号とホスト番 号の範囲は以下のようになります。 IPアドレス : <u>11000000</u>. <u>10101000</u>. <u>00000010</u>. <u>00000001</u> ネットワーク番号 ホスト番号

(7)必要があれば、DNS サーバーに関する設定を行います。

(8)[OK]ボタンをクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログを閉じます。

(9)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」画面を閉じます。

(10) 設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

以上でネットワーク設定は完了です。

2.3.3 Windows 2000 をご使用の場合

重要↓● この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオン してください。ユーザー権限については、OSのマニュアルをご覧ください。

1 ネットワークアダプタの確認

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタ(LAN ボード/カード)が正常に動作しているかど うかを、Windowsのデバイスマネージャで確認します。

(1)パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

(2)デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を 選択します。



(3)「システムのプロパティ」ダイアログで、[ハードウェア]タブをクリックしたあと、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。

システムのプロパティ ? 🗙	
全般 ネットワーク ID 【ハードウェア】] ユーザー プロファイル 詳細	
ハードウェア ウィザード ハードウェア ウィザードを使って、ハードウェアのインストール、アンインストー ル、削除、修復、取り外し、および設定ができます。	
<u>ハードウェア ウィザード(H)</u>	
- デバイス マネージャー	
デバイスマネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード ウェア テバイスを表示します。デバイスマネージャを使って、各デバイスのプロパティを変更できます。	
デバイスマネージャ(D)	
ハードウェア プロファイル	
ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納 することができます。	
<u> ハードウェア プロファイル(P)</u>	
OK キャンセル 道用(金)	

(4)「デバイス マネージャ」画面で、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワーク ア ダプタ」をダブルクリックします。

パソコンに取り付けられているネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

呉デバイス マネージャ	
操作(A) 表示(V) (← →) 🛅 🖬 😭 😫 🔍	
■ 300/00-ROM ドライブ ■ DVA/00-ROM ドライブ ■ DE ATA/ATAPI コントローう ■ ひとした TA/ATAPI コントローう ■ ひとしゃ ■ ひとしゃ ■ コンビューを ■ マンビューを ■ マンビューを ■ マンビューを ■ マンビューを ■ マンジョーを ■ コンビー ■ コン ■ エ ■ ■ ■ エ ■	

MEMO • 名称の先頭に「×」マークや「!」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタ は正常に動作していません。パソコンやネットワークアダプタのマニュアルなどをご参 照のうえ、正常な状態にしてください。

(5)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「デバイスマネージャ」画面を閉じます。

(6)[OK]ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」ダイアログを閉じます。

2 TCP/IP プロトコルの設定

(1) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックしたあと、「設定」から「ネットワークとダイヤル アップ接続」を選択します。



(2)「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面で、「ローカル エリア接続」アイコンを右クリック し、メニューから「プロパティ」を選択します。



TCP/IP プロトコルとは

ネットワークプロトコル(通信速度、通信方法などの通信に関する取り決め)の1つで、「TCP (Transmission Control Protocol)」と「IP (Internet Protocol)」という2つのプロトコルの名称を合わ せたものです。インターネットや電子メールなどに利用され、現在最も普及しているプロトコル です。 (3)「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログで、[チェック マークがオンになっているコン ポーネントがこの接続で使用されています] 内の [インターネット プロトコル (TCP/IP)] にチェッ クマークが入っていることを確認します。

もし入っていない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

ローカル エリア接続のプロパティ ? 🛛
全般
接続の方法:
Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
, 構成(C) 構成(C)
チェックマークがオンになっているコンボーネントがこの接続で使用されています@
 ✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ✓ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ✓ ↓ インターネット プロトコル (TCP/IP)
インストールФ 削除(U) ブロパティ(E) 説明
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する(₩)
OK キャンセル

(4)[インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

ローカル エリア接続のプロパティ ? 🛛
全般
接続の方法
Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
構成©)
チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(2):
 ☑ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ☑ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ☑
インストールФ ド説明 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する(型)
OK キャンセル

(5)「インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ」ダイアログで、[次の IP アドレスを使う] を選択し、[IP アドレス]のテキストボックスにパソコンの IP アドレスを入力します。

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ 🔹 🛛 🔀
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。
C IP アドレスを自動的に取得する(Q) (の)かりに入を使う(S): (の)かり アドレスを使う(S): (の)かり アドレスを使う(S):
IP アドレス型: [192 168 0 1]
サブネット マスク(山):
デフォルト ゲートウェイ(型):
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(包)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):
詳細設定\\
OK キャンセル

IP アドレスとは ネットワークに接続されている個々の機器を区別するために、各機器に割り当てる固有のアドレ スのことです。ドットで区切られた4組の数字(例:192.168.0.3)で表されます。

(6)[サブネットマスク]のテキストボックスをクリックすると、自動的にサブネットマスクが入力 されます。必要があればサブネットマスクを変更し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ					? ×
全般					
・ ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	iは、IP ク管理者	設定をE 計に適切	自動的に Dな IP 影	取得するこ 設定を問いる	とがで 含わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)					
● 次の IP アドレスを使う(S):					
IP アドレスΦ:	192	168	0	1	
サブネット マスク(山):	255	255	255	이	
デフォルト ゲートウェイ(型):					
 ○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得 ○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E): 					
優先 DNS サーバー(P):					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):					
				詳細設定(<u>v</u>
	((ж 🕅	1 **	ンセル

- MEMO [デフォルト ゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用して いない場合、入力する必要はありません。
 - パソコンと GP のサブネットマスクが異なる場合、参加局の検索時に GP が一覧に表示 されません。

サブネットマスクとは IP アドレスのうち、どのネットワークに接続しているかを示すネットワーク番号と、個々の機器 を区別するホスト番号の範囲を表したものです。 例えば、IPアドレスが「192.168.2.1 、サブネットマスクが「255.255.255.0 」の場合、それぞれの アドレスを2進数で表すと、 : 11000000.10101000.00000010.00000001 IPアドレス となります。 IP アドレスのうち、サブネットマスクの「1」で表される部分がネットワーク番号、「0」で表され る部分がホスト番号となりますので、IPアドレス「192.168.2.1」のネットワーク番号とホスト番 号の範囲は以下のようになります。 IPアドレス : 11000000. 10101000. 00000010. 00000001 ネットワーク番号 ホスト番号

(7) 必要があれば、DNS サーバーに関する設定を行います。

(8)[OK]ボタンをクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログを閉じます。

(9)[×](閉じる)ボタンをクリックし、「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面を閉じます。

(10)設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

以上でパソコンのネットワーク設定は完了です。 続いて、GPのネットワーク設定を行います。

2.4 GP のネットワーク設定をしよう

GPをネットワーク(イーサネット)経由で接続するための設定を行います。

1 GP の電源を入れます。

しばらくすると、GP に「初期転送モード」画面が表示されます。



2[イーサネット設定]をタッチします。

「イーサネット設定」画面が表示され、出荷時に設定されている内容が表示されます。

<mark>イーサネット設定</mark>								
192	168	1	0					
255	255	255	0					
0	0	0	0					
8000								
	E 192 255 Ø	E 192 168 255 255 0 0	E 192 168 1 255 255 255 0 0 0 8000	E 192 168 1 0 255 255 255 0 0 0 0 0 8000 取消				

3 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび自局ポート番号を入力し、[設定] をタッチします。

設定する数値については、ネットワーク管理者に相談してください。

MEMO
• [デフォルトゲートウェイ]は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用して いない場合、入力する必要はありません。

以上で GP のネットワーク設定は完了です。